

「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会 報告書」について

1 設置の趣旨

スクール・ポリシーやGIGAスクール構想，学校運営協議会といった新たな仕組みを活用した魅力ある学校づくりについて，学識経験者やPTA関係者等からの意見はもとより，高校生の生の声を聞きつつ検討を行い，本県公立高等学校，とりわけ普通科のより一層の特色化・魅力化に向けた，今後の取組の指針を策定する。

2 報告書の主な内容

○特色化・魅力化に向けた方策

（1）スクール・ポリシーの共有と浸透

- ・スクール・ポリシーの積極的な情報発信や，教職員，生徒，保護者，地域の人々等，関係者の教育活動への参画による当事者意識の醸成。
- ・スクール・ポリシーを基準とした教育活動の精選と重点化や，スクール・ポリシーの定期的なブラッシュアップ。

（2）学校教育活動の充実

- ・地域を学びの場とした探究活動の推進による社会参画力の育成。
- ・県や国の事業等の積極的な活用や，ICTのより一層の効果的な活用。
- ・普通科に，将来の職業を意識した実践的な学びを深められるコースを設置するなど，生徒や学校，地域の実態に応じた学習活動の展開。

（3）社会に開かれた学校教育

- ・社会の多様な主体と学校が連携強化を図るためのコーディネート機能の充実。
- ・学校運営協議会の充実を図り，特色・魅力ある教育活動を持続させるための組織的な連携協力体制の構築。

（4）効果的な魅力発信

- ・生徒の「生の声」が伝わる生徒主体の広報活動の推進。
- ・実社会で活躍している卒業生や校内外で生き生きと活動する在校生の姿を，ホームページやSNS等で継続的に発信。

○取組事例

生徒による発表や資料提供をしていただいた，普通科を設置する7つの高等学校の「スクール・ポリシー」や「スクール・ポリシーに基づく教育活動」などを掲載。